管機連Daily News

2026年10月22日（木）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆9月の訪日客、5.0%減の310万人 中東混乱による燃料高響く

・日本政府観光局（JNTO）が発表した9月の訪日客は310万3700人と前年同月に比べて5.0%減。減少は2カ月連続。中東情勢の悪化で燃料価格が高騰し、航空券が値上がりしたことが響いた。欧州からの客数が減少した。国・地域別でみるとドイツが12.7%減の4万6100人、英国は4.1%減の4万5200人、フランスは8.0%減の3万5700人だった。

◆輸入額4～9月、過去最大66兆円 原油と半導体がけん引

・財務省が発表した貿易統計速報によると、2026年度上半期（4～9月）の輸入額は66兆2753億円。原油価格が上昇し半導体の輸入額も増えたため、半期としては比較可能な1979年以降で過去最高額。原油の輸入額は5兆7439億円と26.3%増えた。中東の混乱でホルムズ海峡を通過しない代替ルートでの調達が広がり、輸入コストが上昇。

◆貿易赤字4～9月2.8兆円 代替調達で原油高続く、「当面は収支悪化」

・原油高が貿易赤字を拡大させている。財務省が発表した貿易統計速報によると、4～9月の貿易収支は2兆8184億円の赤字。米国などからの代替調達が進展する一方、輸送距離が伸びることで輸入価格は下がりにくくなっている。輸入額は20%増の66兆2753億円、輸出額は18%増の63兆4569億円。輸入額、輸出額ともに比較可能な1979年以降で過去最高。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆布団乾燥機宣伝に措置命令、ダニ対策や殺菌効果根拠なし 消費者庁

・消費者庁は十分な根拠がないのに布団乾燥機のダニ対策や殺菌の効果を宣伝したことは景品表示法違反（優良誤認表示）に当たるとして、東京都渋谷区の「giobai（ジオバイ）」に再発防止などを求める措置命令を出した。「布団の隅々まで温風が行き渡り、ダニの死滅と殺菌効果が得られる」旨の表示をしていたが裏付ける合理性が見当たらなかった。

◆ハウスメーカー9月受注、増加は3社にとどまる

・ハウスメーカー各社が発表した2026年9月の戸建て注文住宅の受注速報値（積水、旭化成は集合住宅含む）によると、受注が前年同月を上回ったのは前月から1社減って3社にとどまった。期累計でも半数が前年割れとなっている。大和ハウス工業は2カ月連続の2ケタ減。これまで比較的堅調に推移していたメーカーでも、受注環境の厳しさが鮮明に。

◆住宅省エネ2024で情報漏えいか 不審なメールに注意

・国土交通省、経済産業省、環境省は「住宅省エネ2024キャンペーン」（子育てエコホーム支援事業先進的窓リノベ2024事業、給湯省エネ2024事業、賃貸集合給湯省エネ2024事業）の申請システムにおいて、登録事業者の個人情報が漏えいした可能性があることを発表し。システムは事務局の博報堂が運営しており、外部からの不正な操作があったという。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック ハウジングソリューションズ、薄型上貼りリフォーム床材



・1.5mmの薄さによりカッターでの切断が可能で短工期、廃材削減、床暖房・防音直貼り対応などの特性で、市場を牽引してきた同製品のラインナップを拡充。価格を抑えた耐熱仕様の「耐熱コスト優先タイプ」と小型犬の滑り配慮仕様に「滑り配慮非耐熱」を追加。

■シャープ「プラズマクラスターエアコン＜Rシリーズ＞」



・2027年度を目標とする新省エネ基準を全機種で達成した、プラズマクラスターエアコン＜Rシリーズ＞8機種を発売。カビの増殖を抑制する「防カビカラッとファン」を新たに搭載。カビ対策として、業界で初めてファンに「超親水ナノコーティング」を採用。

■ハイアールジャパンセールス、省エネ・清潔・品質にこだわった温水洗浄便座2タイプ



・清潔・快適機能を兼ね備え、省エネ基準達成率160%の高い省エネ性能で、日々のくらしに安心を提供する「瞬間式」（JB-SS01B）と、充実の基本性能を備え、業界トップクラスの省エネ性能を実現した「貯湯式」（JB-CS01A）の2タイプの温水洗浄便座を順次発売。